

叩す

拠点に

トナーのドイツ人による経営管理、販売管理・生産管理などの体制、欧州各国の代理店網を構築してきた」として、村瀬氏は今年秋、ドイツから日本に居住地を移し、日本での販売拡大と生産体制の整備を行う。

日から庄川工場の呉羽アパレル縫製センターとして稼働している。従業員(約30人)も全員が同工場に転籍した。

スポーツシャツ事業で資産効率的向上や固定費削減などを進め、糸や生地の開発を担う庄川工場内の東洋紡STC開発技術

売上高21%増で過去最高

川越政3月期 製品OEM32%増でけん引

服地コンビナーターの川越政(大阪市)は、18年3月期決算が創業以来最高となる売上高21億8700万円(前期比21%増)に達し、経常利益も13%増だった。

り感のある「ネーベルタフター」など割織系の強機水加工素材が新規を開拓した。また、岡山や児島、九州エリアも伸びた。

1人減の22人体制で20億円台を突破したことから今期は、一人当たり売り上げを重視しながら収益力を高め「筋肉質の企業作り」(川越浩治社長)を目指す。

今期は、増収増益の背景となった輸出や国内産地対策、経費削減などの社内プロジェクトのノウハウを引き継ぐ。特にテキスタイルのブランディングを意識しながら、海外販路の拡大を強める。外国人インタンシッ

て60年を迎え、フ・シーバー殿堂に選ばれ、パンデックスに糸に進化させるの意思を受け、ある『高機能』で社会に貢献、ジョンを追求話した。

全日空向 排除措置

伊藤忠商事委員会から全服販売業務に命令を受領している」と卒同社は16年

過去の制服占禁止法違反で、取引先を受けてきた。本邦よびJRO N T T 東日業務に対しては命令を受け、策定し実行

全日空向過去の業務発防止策の工程で、公取ら違反行為し、「本件ついて、調べており、引



増収を引つ張ったのは製品OEM(相手先ブランドによる生産)事業で、32%増となった。雑貨までアイテムを広げるとともに、テキスタイルとの相互補完で個別ブランドとの取り組みを強めた結果、販売先の中で自社の比率が高まるなど深掘りが進んだ。

テキスタイル事業は、国内で大阪が苦戦したものの東京が10%増と健闘した。ポリエステル・ナイロンで、軽さが特徴の「フォグリップ」、上質なめ

国内向けは、テキスタイルでオリジナルを充実する一方、OEM生産管理部門も新設し、両事業の収益バランスを重視する。

全日空向過去の業務発防止策の工程で、公取ら違反行為し、「本件ついて、調べており、引

体感などを提案